



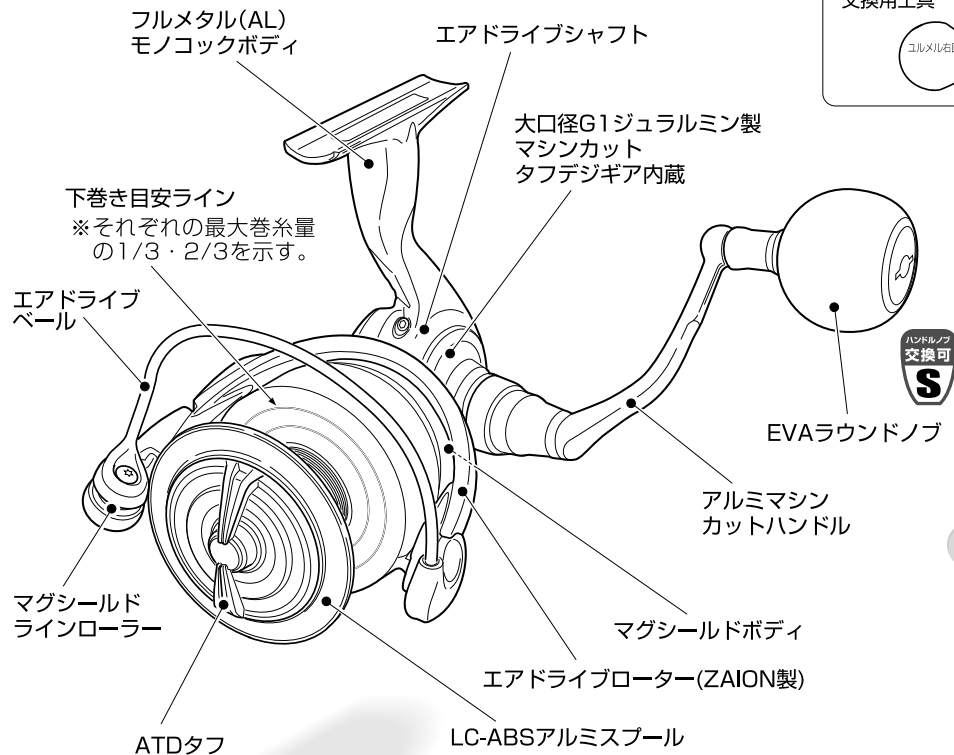
AIRDRI
VE
DESIGN

CERTATE SW

取扱説明書

●各部の名称

この度は、DAIWA CERTATE SW をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品はハードなルアーフィッシングに求められるスムーズで高効率な巻上げ・滑らかなドラグ性能のみならず、防水・防塵の「マグシールド」をボディ、ラインローラーに搭載し、永くご使用いただける耐久性も兼ね備えた高機能スピニングリールです。また、釣り人が求める、意のままにルアーを操作することを追求した次世代スピニングリールの設計思想「AIRDRIVE DESIGN」を採用しています。このリールを正しくお使い頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。



●付属品

スプール調整ワッシャー (4枚)

ハンドル交換用工具

●CERTATE SW の特徴

AIRDRI
VE
DESIGN

エアドライブデザインは、釣り人が求める意のままにルアーを操作することを追求した次世代スピニングリールの設計思想。エアドライブデザインは、最大4つのテクノロジーで構成される。巻き出しが軽く、ハイレスポンスな回転を生み出すエアドライブローターの搭載を必要条件とし、軽量、トラブルレスなエアドライブベール、不要な肉を限界まで削ぎ落とし、軽量化を突き詰めた薄肉設計のエアドライブスプール、メインシャフトを高精度カラーで支持し、さらにピニオンギアと非接触構造とすることで、高負荷時でも回転ノイズの極めて少ない軽い巻き上げを可能としたエアドライブシャフト。これらの相乗効果とリールの重量バランスの改善により、高次元での操作性を実現する。本機種ではエアドライブローター、エアドライブベール、エアドライブシャフトを搭載。

■モノコックボディ

ドライブギアの高剛性、高剛性ボディと高精度プレートをねじ込むことで支持した構造。これによりギアの支持精度、剛性、さらには気密性も向上。また、従来よりもドライブギアのサイズを極限まで拡大することにも成功しました。

■マグシールド

「マグシールド」は磁性を持つ液体を利用することで、磁性を持つ液体の壁を作り、水の侵入をシャットアウトする 画期的構造。滑らかな回転はそのままに、水、異物の侵入を抑えることで初期回転性能を長期間持続。本機種では、ボディ内部とラインローラー部がマグシールド構造になっています。(本製品は完全防水ではありません。水に浸さないようご注意ください。)

⚠ 注意

- ラインローラー部、ボディ部ともにマグシールド周りへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
- ラインローラー部、ボディ部ともに分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。

■ATDタフ

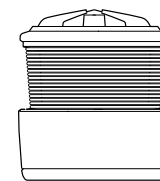
高密度カーボンワッシャーに高性能・高耐久の新型オイルを含ませさせることで、高いドラグ設定値でもドラグ効き始めの初期の食いつきを解消し、締め込んでもスティック(ムラ)のない安定した滑らかさを実現しました。※特殊なオイルを使用している為、ドラグ部の注油の際は、アフターサービス部門へお申し出ください。

■大口径G1ジュラルミン製マシンカットタフデジギア

超々ジュラルミンの1.3倍の強度を誇るダイワ独自のG1ジュラルミンをドライブギアに採用。軽量性を維持しつつも、大幅な強度アップを実現した。歯面には超高精度マシンカット技術を採用し、鍛造ギアの数倍以上の歯面精度を実現することでさらに滑らかな回転性能を実現した。

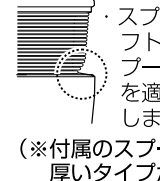
●巻糸状態調整方法

＜標準巻糸状態＞



・実際には糸を巻くときの張力、使用糸の径のバラツキ等の条件の違いにより、巻糸状態が微妙に変化することがあります。

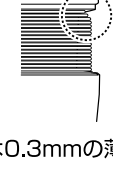
＜前巻き過ぎる場合＞



・スプールとメインシャフトの間に、付属のスプール調整ワッシャーを適当に追加して調整します。

(※付属のスプール調整ワッシャーは0.3mmの薄いタイプと、0.5mmの厚いタイプがございます。)

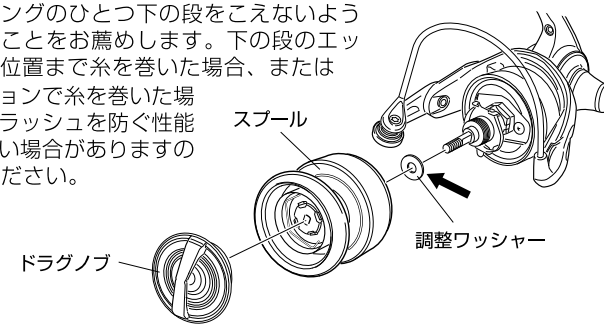
＜後巻き過ぎる場合＞



・スプール調整ワッシャーを抜くか、薄いタイプと交換して調整します。

■ Long Cast-ABS 推奨巻糸量

スプールリングのひとつ下の段をこえないように巻かれることをお勧めします。下の段のエッジを越える位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合はバックラッシュを防ぐ性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



●PEライン使用時のご注意

本機種は機構的にバックラッシュを防ぐ工夫をしていますが、PEライン使用時には、よりバックラッシュを防ぐために、以下の2点をお勧めします。

- 1.ご使用状況に合わせて、上記のように付属のスプール調整ワッシャーを追加したり、抜いたり、うすいものと交換することにより、標準巻糸状態に近づくように調整してください。
- ※但し最低1枚はスプール調整ワッシャーを入れてお使いください。

●糸巻き時のご注意

PEラインを巻く際は、500g~1kg程度のラインテンションでの糸巻きをお勧めします。ナイロンライン(下巻き含む)を巻く際は、300g程度のラインテンションでの糸巻きをお勧めします。

⚠ 注意

●スプールにテンションを掛けすぎないようにご注意ください！
PEライン：2kg以上の強いテンションで糸を巻かないでください。
ナイロンライン：500g以上の強いテンションで糸を巻かないでください。
スプール変形の原因になります。

●安全上の注意

⚠ 注意

- 1 ストッパーレバー付リールでストッパーをOFFにして釣っていたり、ワンウェイクラッチ部に注油したりすると、ハンドル、ローターが逆転し、手にあたりけがをするおそれがあります。十分にご注意ください。また、キャスティング時には必ずストッパーをONにしてください。OFFのままキャスティングをすると、ローターが高速回転し、手にあたりけがをするおそれがあります。(ストッパーON/OFF切替機構搭載の有無は、機種により異なります。)
- 2 回転しているとき、回転部に触れないでください。けがをするおそれがあります。
- 3 糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまさないでください。糸で指を切ることがあります。
- 4 ローター、ボディ、ハンドルの隙間に指・衣服等が挟まると大変危険ですので、取扱いには十分にご注意ください。
- 5 投げる際、ベールを起こすのを忘れたり、ハンドルがベールの返りやすい位置にならないようにしてください。仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。
- 6 ドラグ付きリールで、遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
- 7 ドラグが作動し続けると、ドラグ部が高温になり、火傷をするおそれがあります。十分にご注意ください。
- 8 乳幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

●ご使用上の注意

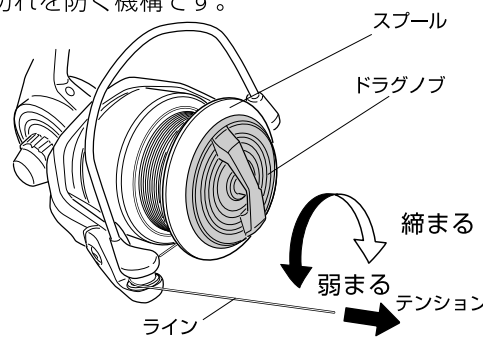
⚠ 注意

- 1 本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
- 2 本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
- 3 使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量・巻糸状態との差異が生じることがあります。
- 4 根掛かりした時は、竿をあおらず糸を棒状の物に巻き付け、引っ張って切るようにしてください。竿をあおると、竿折れの原因になります。
- 5 落下等の強い衝撃がかかると、破損する場合があります。また、竿に装着した状態での落下等、竿尻に衝撃があった場合にも、リールの脚部が破損するおそれがありますので十分にご注意ください。
- 6 シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装が剥けたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたままリールを扱うこともおやめください。

- 7 リールを長期間保管するときは、水分を完全に切り、なるべく通風性のよい場所に保管してください。
- 8 ドラグ付リールは、釣行後にドラグノブを緩めて保管してください。ドラグノブをきつく締めたまま保管すると、ドラグワッシャーが潰れ、性能が低下します。
- 9 輸送時に強い負荷等がかかると、ベール等の部品が変形するおそれがあります。梱包状態や取り扱いには十分にご注意ください。
- 10 リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように十分にご注意ください。
- 11 分解作業は絶対におやめください。
- 12 弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理は、場合によってはお断りさせていただきます。ご了承ください。
- 13 製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

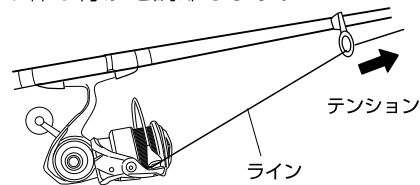
●ドラグ調整

ドラグとは、ドラグの締め付けを調整することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。



※ドラグノブは右に回すと強く締め、左に回すと弱くなります。

※リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調整してください。ストッパーONの状態、手で糸を引き出しながら、ドラグの締め付けを調節します。



※遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。

※ドラグフリーの状態のまま竿をあおらないでください。糸がバックラッシュしローターやメインシャフトに絡むおそれがあります。

●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合はお買い求めの販売店、または右記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます 【受付時間】 9:00~17:00(土・日・祝祭日は除く)

TEL 0120-506-204
ホームページ上からも確認、お問い合わせできます
www.daiwa.com/jp/

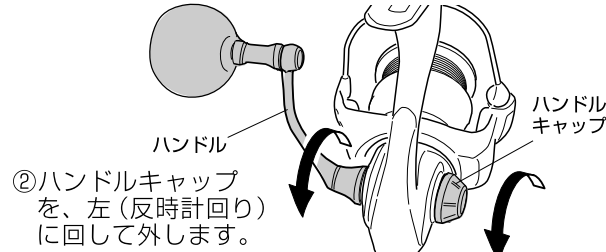
グローブライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

●ハンドル左右切換方法

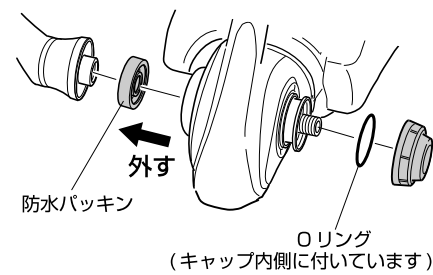
※ハンドルはスクリュー式の着脱になっています。使用中に緩み、落下しない程度にきつく締めてください。
(締付け目安：ハンドルノブに加える力8～10kg)
また過剰に締付けると、ギアが破損し回転性能が低下することがありますのでご注意ください。
※製品出荷時はハンドルは左仕様になっております。

<製品出荷時>

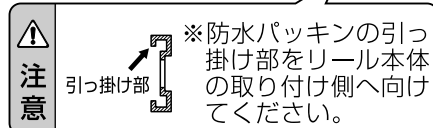
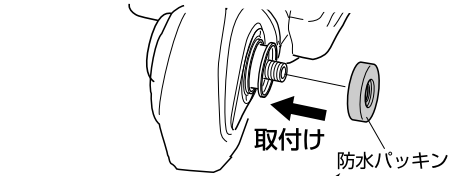
1 ①ハンドルを手で右(時計回り)に回して外します。



2 ③キャップといっしょにOリングも外します。
※ハンドル側についている防水パッキンも外します。

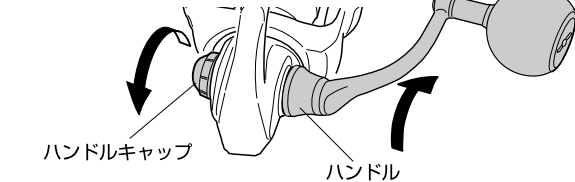


3 ④新しく取り付けるハンドル側へ防水パッキンを移動し取り付けます。



4 ⑤ハンドルとハンドルキャップを入れ替えます。

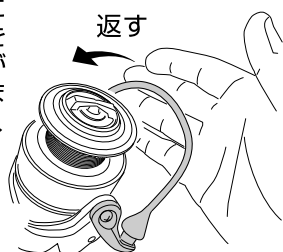
⑥ハンドルを右(時計回り)に回します。ハンドルキャップを、右(時計回り)に回します。
※Oリングも忘れずにキャップ側へセットしてください。



●マニュアルリターン

本製品はキャスト時のベール返りを完全に防止し、かつ耐久性の向上を狙い、ハンドル回転でベールが返らない機構になっています。糸放出後は手でベールを返してください。

※ラインローラーに糸が入る前に竿をあおるとベールが開くことがありますので、ご注意ください。

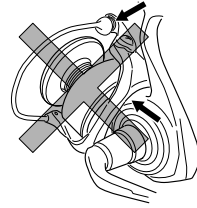


●お手入れ方法

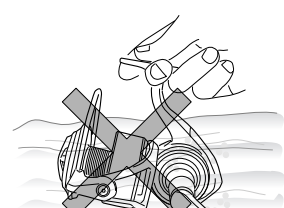
⚠️ 注意 リール性能が損なわれますのでおやめください!

●市販の防錆潤滑剤のご使用は、結果的にギアやボールベアリング等、内部パーツの耐久性を損なう可能性や異音等の発生の原因になる場合がございます。
ご使用された結果生じる不具合につきまして、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

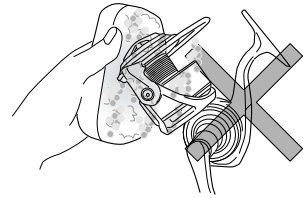
●図に示すマグシールド周りの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。



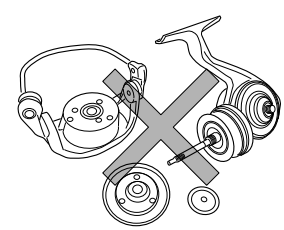
●本製品は完全防水ではありません。水に浸けての洗浄はおやめください。



●水洗いの際は、洗剤を使用しないでください。マグシールド機能を損ないます。また弊社製品「爽快釣行リールウォッシュ」についても同様に使用できません。ご注意ください。

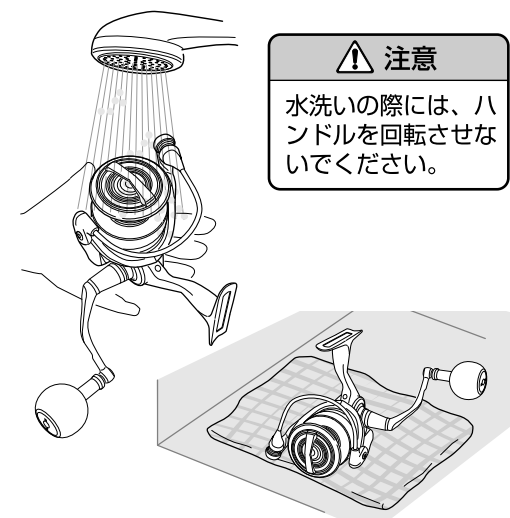


●ボディやラインローラーを分解してのメンテナンスはおやめください。



おすすめの水洗い方法

●ご使用後は外観部の汚れ、塩分をシャワー等で全体にまんべんなく真水をかけ、落してください。そして、よく水を切り陰干ししてください。尚、水洗いはドラッグを締め、ハンドル、ハンドルキャップをつけた状態で、イラストのようにドラッグノブの方向からのみ、水を掛けるようにしてください。



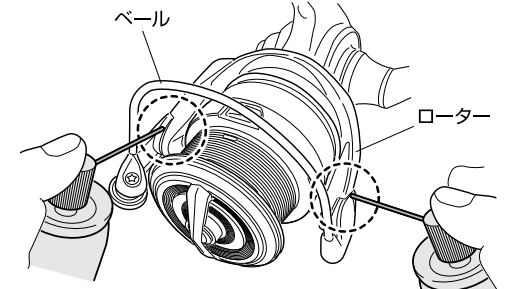
特に海水域でリールを使用した場合、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後に必ずメンテナンスを行っていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により初期性能は低下する可能性があります。
本リールを末永くお使いいただくためにも、年に一度はオーバーホールに出されることをお勧めします(有料)。

●内部パーツは基本的にはメンテナンスの必要はありませんが、ベール等の作動部には水洗い後、下図の要領で注油をお勧めします。
※推奨グリス：ダイワ純正リールガードグリス

【注油箇所】

1) ベール周り

図の様に、ベールの付根とローターとの隙間にダイワリールガードグリスを両側共注油してください。



2) ラインローラー部

本機種のラインローラーはマグシールドによる防水がなされています。そのため、以下のことは絶対にしないでください。

- ①ラインローラー部のスクリューを外すなどの分解行為。
- ②ラインローラー部への注油。(外からの注油も含む)
- ③強力な磁石・磁力の発生するものは念のため、近づけないようご注意ください。また磁気を持つカード類(キャッシュカード)を近づけるとカードの機能を損なう可能性があるためご注意ください。



※ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、性能を損なう可能性があります。おやめください。

※万が一、海水に水没させてしまった場合は、水洗いを行ない、海水を完全に抜いてください。但し、内部に残った塩分により不具合が発生する可能性がありますので、販売店を通じて、速やかに(株)スポーツライフプラネットに修理としてお預けください。

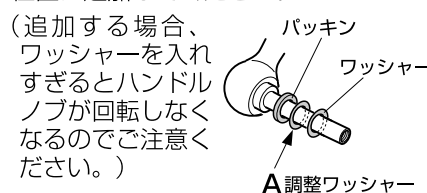
●ハンドルノブ取付方法 (※Sサイズノブと互換性があります。)

1 付属の工具を使用し、ハンドルスクリューを時計回りに回し、外します。

2 市販のプラスドライバーを使用し、スクリューを反時計回りに回し、外します。



※ハンドルノブのガタが大きい場合は、ダイワ純正RCSオプションハンドルノブに付属しているワッシャーを図Aの位置に追加してください。



『パーツ情報 確認方法』



QRコードまたは検索

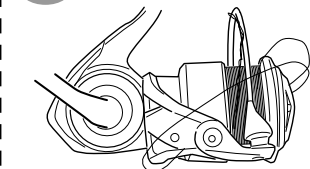
パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください

ダイワパーツ検索システム 検索

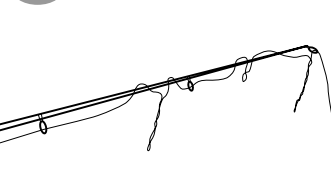
ツイストバスター (TB)

●スピニングリールをご使用中に、よくあるライントラブルとしてリール各部・ロッドのガイドへの糸がらみなどがあげられます。その原因には、もちろんキャスト時のミスや風の影響などもありますが、実は糸のヨレが大きな影響を与えていたのです。

例 リール各部への糸がらみ



例 ロッドの穂先への糸がらみ



⚠️ ご注意

※ツイストバスターによる糸ヨレの解消率は、釣種・釣法・糸の素材・形状などにより多少異なります。

1. 以下のように糸ヨレがあまり発生しない状況下では、今までの製品との性能差がはっきりと出ないことがあります。

- ①糸のテンションが低い場合
- ②キャスト距離が短い場合

2. 以下のような場合は、ツイストバスターの性能が十分に発揮されることがあります。

- ①ドラッグを多用した場合
- ②竿の元ガイドとの距離が極端に短い場合
- ③PEラインをご使用の場合

※ただし、PEラインはその特性(編み糸構造)上、糸ヨレが発生してもトラブルにはなりにくくなっています。

Long Cast-ABS

●スピニングリールをご使用中に、よくあるライントラブルとしてバックラッシュがあります。ロングキャストABSは、そのトラブルを大幅に解消し、従来比、約5%もの飛距離アップに成功しました。

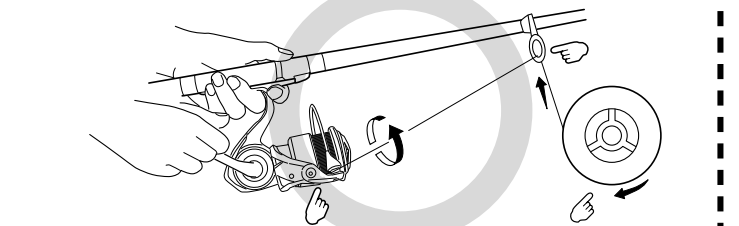
●バックラッシュ(ゴップ)の解消率は、釣種・糸の状態やキャスト時のミスや風の影響などにより多少異なります。

●ツイストバスター(TB)は、糸巻き取り時のヨレ※1を大幅に解消しました。

▲ご使用方法はカンタン。基本的には、これまでのスピニングリールと同じです。ただし、お客様が糸を巻かれるときには、最初からツイストバスターの性能を十分に発揮させるため、以下の方法をおすすめします。

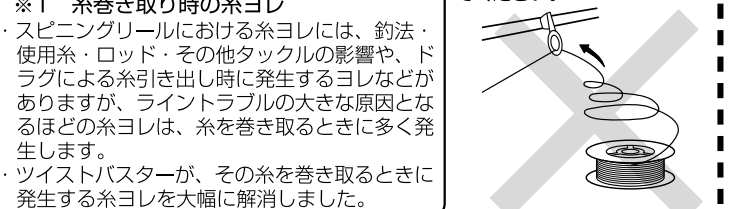
新品の糸を巻かれる場合には、下図のように巻くことをおすすめします。

・図のようにロッドの元竿部および元ガイドを活用すると便利です。



・ドラッグは、しっかりと締め、巻き取り時に滑らないようにしてください。

・新品の糸の場合、ポビンを図のようにタテにして、適度のテンションを与えながら巻いてください。



※ツイストバスターの性能を最大限発揮させるために、アームレバーを若干傾けてあります。
※ダイワはツイストバスターシステムの実施技術およびその周辺について、日本、米国、ヨーロッパ、その他の国々に対し特許と意匠を多数出願しております。

⚠️ ご注意

※以下のような場合は、アンチバックラッシュシステムの性能が十分に発揮されないことがあります。

1. 糸を弱いテンションで巻いた場合
2. 糸を標準巻糸量より多く巻いた場合

例 バックラッシュ(バーマ、ゴップ)

